

POPULAR

ポプラ

2008
SUMMER

夏号
No. 61
関西学院通信

SPECIAL ISSUE
関西学院の
環境保全活動と
私たち一人一人に
できる取り組み

キャンパスいま昔

西宮上ヶ原(前編)

POPULAR
CONTENTS
2008 SUMMER No.61

SPECIAL ISSUE	2
関西学院の環境保全活動と 私たち一人一人にできる取り組み	
就職の窓 2007年度の就職状況	8
キャンパスいま昔 西宮上ヶ原(前編)	10
ひと 人 ひと	12
私たちの先生 神学部 土井健司ゼミ	14
Sky Seminar 社会学部教授 島村恭則	15
数字でみる関学 関西学院とオリンピック	16
募金協力のお願ひ	17
CAMPUS NEWS 野田正彰教授からのメッセージ 初・中・高通信	18
BOOK SELECT	22
また今度の日曜日 文学部教授・宗教総主事 田淵 結	23

関西学院の
SPECIAL ISSUE

環境保全活動と

私たち一人一人に

できる
取り組み



関西学院の夏
表紙/関西学院会館
右/外国人住宅



先月、北海道洞爺湖サミットが開催され、地球環境問題に関する討議が繰り広げられた。地球温暖化対策をはじめとする環境問題は近年、全世界で取り組むべき課題となっている。危機に瀕する地球を救うために、私たち一人一人にできることは。また、関西学院や学生たちの取り組みの現状は。環境問題について考える。

世界でも注目される 日本企業の取り組み

地球温暖化を進行させる原因が、二酸化炭素に代表される大気中の温室効果ガスだ。しかし、日本では製造業などの産業部門の二酸化炭素排出量は90年から増えていない。「企業が環境対策に熱心に取り組んできたことの表れ。環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得した事業所が2万以上もあり、その数は世界一です」と、商学部の阪智香教授は評価する。

この企業の努力を無駄にす



商学部
教授 阪智香
研究分野は環境会計、
環境報告書。

ることなく、私たちの暮らしから排出される二酸化炭素を減らすにはどうすればいいのだろうか。阪教授は言う。

「どの企業がちきちんと環境対策をしているかを見極め、評価する。商品購入の際は環境に配慮した商品を選び、株を買うなら環境対策に積極的な企業の株を買うことです」

環境に配慮した企業を評価し支援する

企業や商品を正しく評価し、選択するには、情報が欠かせない。企業の環境対策を知るための重要な情報源が環境報告書だ。環境マネジメントシステム、法

規制遵守の状況、環境対策にかけたコストと効果を示す環境会計など環境経営の状況、二酸化炭素や廃棄物をどれだけ出しているか、またどれだけ減らしたかなど企業活動の環境負荷の情報などを記載している。現在、1000社を超える企業が報告書を作成。各社ホームページから見ることができ、請求すれば送ってもらえる。

また、環境に配慮した商品かどうかを判断する場合には、ライフサイクルの視点が重要となる。「原料から製造過程、製品を使用する期間を経て廃棄まで、トータルでの環境負荷を考慮しなければなりません」。環境に配慮した住宅や車、家電などは、通常の製品より値段が高いケー

スが多い。しかし、ライフサイクルで合計すれば、コスト、環境負荷ともに少なくてすむ。

「良い企業、頑張る企業を積極的に評価し、支援する結果、悪い企業が淘汰される。私たちの選択と、企業の環境対策が両輪となって環境に優しい市場をつくります」

環境家計簿に家族で取り組もう

企業の頑張り引き換え、家庭からの二酸化炭素排出量は90年比で30%も増えている。核家族化により世帯数が増えたことが大きな要因だが、温かい便座や乾燥機など、利便性や快適さを追求する中で生まれた多彩

な製品に囲まれ、私たち自身が贅沢になってしまったことも否めない。

生活を見直すにあたり、阪教授は環境家計簿をつけることを勧める。家庭の電気やガスの使用量を記入していくことで、二酸化炭素排出量が容易に把握でき、自分の家庭がどれだけ環境負荷をかけているかが分かるというもの。自治体や企業、NPOなどが作成しており、ネット上で入力できるものも多い。省エネアイデアや節電データなど家計節約のヒントも得られる。

「家族みんなで取り組んでいる家庭もあり、コミュニケーションが増えた、毎月の結果が楽しいなどの声が上がっています」

▼神戸三田キャンパス



大容量電力貯蔵電池設備



太陽光・風力発電



無電極放電灯(エバーライト)

◆環境報告書を試作◆

阪教授のゼミでは昨年、「関西学院大学2006年度環境報告書」を試作。大学の環境保全活動やリサイクルの現状、学生の取り組みなどをA4判20ページにまとめた。

作成にかかわった学生たちは「データ収集が一番苦労した。データをまとめる体制づくりが必要」「大学が意外に環境問題への取り組みを行っていることを発見でき、いい経験になった」などと話した。

関西学院の取り組み

環境マネジメント活動と 環境教育・研究 二つの側面から環境保全

大学における環境保全の取り組みは、大きく二つに分けられる。一つは、企業などと同様に、環境負荷を低減するための直接的な環境マネジメント活動。もう一つが教育機関として、環境教育・研究を通じて環境意識の高い学生を育て、社会に送り出すという間接的な取り組みだ。

▶▶ 環境負荷低減の取り組み

関西学院では、省エネルギーに配慮した効率のよい設備を導入し、地球温暖化対策に取り組んでいる。

その結果、04年に司法研究科、05年には経営戦略研究科を設置するなど活動規模が拡大し、構成人数は7%増加したにもかかわらず、07年度の温室効果ガス排出量は約904万kg-CO₂で、04

年度に比べ2%減。一人当たりの排出量も約9%減った。水の使用量は年間約20万㎡（一人当たり毎日25ℓ使用）で、04年度比で約25%の削減となった。

キャンパスに植えられた多数の樹木も温室効果ガスを大量に吸収し、環境保全に貢献していると考えられる。

【西宮上ヶ原キャンパス】

内容	設置年度・場所
●BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム) 建物内のエネルギー使用状況や設備機器の運転状況を一元管理し、自動制御する。	04年・大学院1号館 08年・G号館
●コージェネレーションシステム(560kW) 発電時に発生する排熱を冷暖房や熱源供給に再利用。停電時の給電にも利用可。	04年・大学院1号館
●マイクロコージェネレーションシステム(25kW×8台) 排熱をG号館の冷暖房や学生会館の温水プール、更衣室のシャワーなどに利用。停電時の給電にも利用可。	08年・G号館
●氷蓄熱システム 夜間電力を利用して氷を作り、昼間に溶かしながら冷房などに利用。	1999年・関西学院会館
●太陽光発電システム(42kW) 電力供給に利用。07年度は約1万3,000kWhの電力量を供給。	04年・本部棟 08年・G号館
●太陽熱システム 太陽熱をプールや給湯などに利用。	1984年・学生会館新館
●風力発電システム	06年・第3フィールド
●高効率照明器具(インバータ照明)、人感センサー式照明 電気使用量の約4分の1を占める大学図書館には2,866台を設置し、使用量の約8%を削減。	04年～一部事務所など
●節水器具(洗面器自動水洗器、便器自動洗浄器、擬似音装置) 1日100ℓ以上の節水効果あり。また、学生会館更衣室のシャワーを温水設定、水調整機能付きに取り替えた。	04年～06年
●無電極放電灯(エバーライト) 従来の水銀灯と比べて47%の省エネ。6万時間の長寿命でランニングコスト削減。	08年・G号館横、体育館など

【神戸三田キャンパス】

内容	設置年度・場所
●ハイテックNMR実験空調機 約80%の電力量を削減。	06年・IV号館
●大容量電力貯蔵電池(レドックスフロー電池・500kW) 夜間に貯蔵した大容量の電力を、昼間に効率よく長時間にわたり放電。	01年・IV号館
●氷蓄熱システム	01年・III号館
●太陽光発電システム(50kW) 07年度は約4万8,000kWhの電力量を供給。	02年・III号館
●風力発電システム 毎秒12mの風で300Wの発電が可能。駐車場ゲートの照明に利用。	01年・第1学生駐車場
●高効率照明器具(インバータ照明)、人感センサー式照明	01年～各建物
●実験冷却水の循環・中水利用 主にトイレの洗浄に利用。	01年・IV号館
●無電極放電灯(エバーライト)	07年・IV号館横

【宝塚キャンパス】

内容
●高効率熱源システム ●マイクロコージェネレーションシステム(25kW×2台) ●外気冷房・外気量CO ₂ 制御 ●太陽光発電システム(予定) ●BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム) ●ハイブリッドタワー(太陽光・風力発電) ●照明制御センサー ●雨水利用 ●節水器具 ●全熱交換器

▼西宮上ヶ原キャンパス



コージェネレーションシステム



氷蓄熱システム



インバータ照明器具



屋内プール循環ポンプ



太陽熱システム

学生の取り組み



「環境問題は奥が深い。調べていたら欲が出て、もっともっと知りたいと思います」取材をきっかけに関学生協の環境活動にも意欲的に取り組む。「どんなことにも興味、関心を持って動きやすいのが学生時代。私たちの世代がもっと環境問題に関心を持ち、世の中を変えていかなければ」。卒業後も、仕事と両立しながら環境への活動を続けていくつもりだといっ。

NPOのラジオ番組で環境情報を発信

3年生になった昨春、「学生時代に何か動き出さなくては」と思い立つ。分野を問わずテーマを模索するうち、テレビで見た環境の番組が心に引っかかった。やりたいのは環境だと分かった。



法学部4年生
松本千絵さん



地球温暖化防止のため、高校時代から国産間伐材の利用促進に取り組む二人。さまざまなイベントに参加する一方、普段から環境に優しい暮らしを実践している。

イベントを通じ国産間伐材の利用促進

神戸市の松蔭高校出身。高校3年生のキャリア教育活動チャレンジプログラムで、「グリーンエコプロジェクト」に取り組んだのが環境に関心を持つきっかけとなった。関学大入学後も同プロジェクトの活動を続け、4月には環境省に国産間伐材の利用促進を提言した。

また、間伐材のプレートに環境メッセージを書いてもらう取り組みを展開し、G8環境大臣会合に合わせて5月23日から4日間は神戸市の繁華街で実施。これまでに集めた約2000枚のプレートは、洞爺湖サミット初日の7月7日、神戸市で彼女たちが主催した「七ヶキャンドルエコイベント」で紹介した。「環境について調べれば調べるほど、地球は本当にやばいと思います」。日常生活でもマイボトルやマイ箸はもちろん、シャワーの出し過ぎに気をつけたり、電気をまめに消したり、環境に配慮した行動を心掛けている。



人間福祉学部1年生
木村陽子さん(右)
社会学部1年生
清水葉月さん(左)

30カ国を旅しながらLOHASを実践

環境に優しい生活スタイル「LOHAS (Lifestyle of health and sustainability)」の実践と環境破壊の現状調査のため、昨年7月から約半年、ユーラシア、アフリカ両大陸の30カ国を旅した。



総合政策学部4年生
吉川恭平さん(右)
総合政策学部4年生
真野泰寛さん(左)



旅行中は、各地の環境破壊の現状調査や環境保全に取り組むボランティアを訪問しながら、エコ生活を実践。生活必需品は最低限にとどめ、自炊した。油田開発で水が汚染され荒廃したカスビ海周辺、過剰な灌漑事業で湖の面積が激減したアラル海。植物も育たない土地で生活を余儀なくされる人々や、紛争やエイズで苦しむ人々を目の当たりにした。「知識や情報で知っているつもりだった環境問題の悲惨さが、実感に変わった」(真野さん)「当たり前なんて存在しない。人にも環境にも優しくあることが大切だと学んだ」(吉川さん)冬には、3カ月かけて南米縦断を計画している。僕らの旅を参考に、自分ができることから始めてもらえれば」と話す二人の旅の様子を<http://www.lohaspackers.com/>で見ることができ。

生協の取り組み

弁当容器のリサイクルや レジ袋の廃止などで ごみの減量を

学生や教職員のキャンパスライフを応援する生協。「一人一人ができることから」をコンセプトに、ごみの減量や資源の再生など環境に優しい取り組みを進めている。

販売する弁当の容器回収を始めたのが05年秋。食べ終わった後に内側に張つてある薄いフィルムをはがし、容器を店舗に返却すると10円が戻ってくるシステムだ。容器はそのまま捨てる1000個で30キのごみになるが、フィルムを取つて容器を返すと、ごみはフィルム分の800個だけだ。現在の回収率は50%

※エコバッグと箸箱をプレゼントします。詳細は21頁参照。

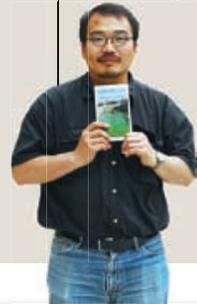
弱だが、今年度から本格的にPRに力を入れ、90%の回収を目指す。

また、今年5月にはレジ袋を廃止。校章の新月をあしらったエコバッグ(黒紺・ピンクの3色、390円)を販売している。今後は、マイ箸の普及に伴う木製箸箱(500円)、布製の書籍カバーなど、環境に優しい関学オリジナルグッズを増やしていく。



松本千絵さんたち学生有志が7月11日、「KGエコイベント リサイクル弁当早むき選手権」を開催。エコキャンペーンガールに扮した学生がリサイクルの方法を説明して回収を呼び掛け、15人が早むきに挑戦した。

関学OBが滋賀県の 嘉田知事にインタビュ ー 生活環境主義をテーマに 出版



関西学院大学社会学部を1990年に卒業した写真家、古谷桂信さんが5月末、滋賀県知事の嘉田由紀子さんが環境について語る「生活環境主義でいこう!」琵琶湖に恋した知事「岩波ジュニア新書」を企画、出版した。

古谷さんは、大学で環境社会学のゼミに所属。担当教員を通じて嘉田さんと面識があり、卒業後も交流は続いた。嘉田さんが知事に就任後、二丁スで取り上げられているのを何度も目にしたが、「知事は地域ごとの生活状況に合わせて環境を考える『生活環境主義』を貫いているのに、マスコミ報道ではそれが十分に伝わっていないのでは」と古谷さん。「嘉田さんの思いを正確に伝えたい」と本の企画を考えて嘉田さんに提案、承諾を得た。

著書は嘉田さんへのインタビュー形式を採用。中学の修学旅行で初めて琵琶湖を訪れた時のエピソード、琵琶湖の研究を始めたきっかけ、琵琶湖の環境の変化などについて、中学生でも理解しやすく書かれている。

あなたの考えるエコは？

生協の学生アンケートから

- 夜、早く寝る。という省エネ
- 冬は日の光を浴びてぬくもりを感じる。
- 夏はプールに行つて涼しくなる
- 電気のつけっ放しはやめる(わが家では罰金制度あり)
- ランドセルや教科書といった学用品のリサイクルに学校側が積極的に取り組む
- 環境問題についての授業を必修にする
- 移動は歩くか自転車で。運動になって一石二鳥
- 雨の時にぬれた傘を入れる袋は一度使ったものを持ち歩く
- 家でお風呂に入るときは、みんなが時間を空けずに入ることでガスの節約になる
- 生ごみを増やさない。買ったものは腐らせずに使い切る
- 文庫本を買ったときにブックカバーを断る
- テレビをつけっ放しにしない
- シャワーの出しっ放しをやめる
- 早寝早起き

就職の窓

2007年度の就職戦線で関西学院大学の学生が健闘した。就職決定率は男女ともに98%台を維持し、好結果となった。



2007年度の就職状況

キャリアセンターの調査によると、昨年度の就職決定率(就職希望者に占める就職決定者の割合)は98.4%。男子が98.1%、女子が98.7%で、いずれも昨年度より微減だが、好調ぶりは続いている。卒業者のうち、進学確定者を除いた人数に占める就職決定者数を示す就職率は87.6%と前年度を1.8ポイント上回った。

業種別では、男子はシャープ、日本



電気などの製造業が最も多く26.4%

(前年度比0.7ポイント減)、次いで金融・保険業20.1%(同3.0ポイント減)、卸売業10.1%(同1.7ポイント増)。女子は採用規模の大きい日本生命保険や三井住友銀行など金融・保険業が36.0%(同0.2ポイント減)でトップ、次いで製造業13.6%(同0.4ポイント減)、飲食・宿泊・複合・その他サービス13.3%(同2.5ポイント減)となった。職種別では、女子は約66.5%が企業の総合職・地域限定職や公務員、MRやSEなどの専門職に就職している。そのうち企業の総合職は43%を占め、前年度から4.2ポイント増加した。

この結果について、キャリアセンターの担当者は「07年度は民間企業の求人

2007年度卒業生の主な就職先

(2008年4月調べ)

就職人気企業への就職状況

順位	業種名	人数
1	みずほフィナンシャルグループ	42
2	全日本空輸	13
3	三菱東京UFJ銀行	27
4	トヨタ自動車	2
5	日立製作所	9
6	電通	4
7	JR東海(東海旅客鉄道)	2
8	ジェイティービー	15
9	博報堂	1
10	松下電器産業	10

*順位は「採用ブランド調査2007」(リクルートワークス研究所)に基づく

マスコミ業界への就職状況

企業名	人数
フジテレビジョン	1
TBSテレビ	1
NHK(日本放送協会)	2
讀賣テレビ放送	1
朝日放送	3
毎日放送	2
関西テレビ放送	1
テレビ大阪	1
上記以外の放送局など	11
朝日新聞社	2
讀賣新聞社	1
毎日新聞社	1
デイリースポーツ社	1
中国新聞社	1
その他の新聞社	1

教員、公務員への就職状況

企業名	人数
国公立学校教員	32
私立学校教員	21
国家公務員I種	2
国家公務員II種	15
国家公務員(各種専門職)	16
都道府県職員	18
都道府県職員(警察)	15
政令指定都市職員	12
その他の地方公務員	52



総数がバブル期を上回るほど大幅に増加し、求人倍率は16年ぶりに2倍を超えた。一方で、企業は採用基準を下げているわけではなく、基準に満たなければ、採用予定人数に達しなくても採用を終えた企業も多い」と話す。「決して楽に内定がもらえる状況ではない」とした上で、「自分のことを知らない人に、自分の思いや考えをいかに分かりやすく、かつ端的に伝えられるかが問われる。自分の希望だけで就職活動を進めるのではなく、キャリアセンターでの個人面談や、先輩訪問をするなど積極的に動き、自分の適性を多面的に捉えて、働くイメージをつかんでほしい」と助言する。

キャリアセンターでは4年生を対象とした個人面談を引き続き受け付けている。また、例年8月以降も大学には多くの求人情報が届いており、これらの情報はキャリア支援システムから検索できる。

一方、秋以降に就職活動が本格化する3年生については「企業に自分の『伸びしろ』を感じてもらえるかどうかが大切。就職面接では自分がどんな理由で、何に、どう取り組んだのかの『プロセス』を伝えることが求められる。そのためにも夏休みは大事に過ごしてほしい」とアドバイス。9月25日、26日に開催する第二回キャリアガイダンスでは、秋以降の就職サポートプログラムが情報が得られるので積極的に参加してほしいと呼び掛けている。

2008年度から始まった新プログラム

- ベンチャーインターンシップ**
 - 1、2年生を対象にしたベンチャー企業でのインターンシップ制度。
- KGグローバルリーダー養成プロジェクト**
 - 全学年を対象に、学生をザリツ・カールトン大阪へ派遣し、現場マネジャーの指導のもと、プロ意識を身に付ける。
- 地域連携お題フェア**
 - 自治体や地場産業の課題解決に取り組みながら発想力やプレゼンテーションスキルを育てる3年生対象のプログラム。

07年度男女別主な就職先ランキングトップ20

男子

順位	就職先	人数
1	三井住友銀行	28
2	みずほフィナンシャルグループ	17
2	京都銀行	17
4	日本生命保険	16
5	シャープ	15
6	大和証券	14
7	日本電気	13
8	三菱電機	11
8	リクルート	11
8	野村證券	11
8	西宮市役所	11
12	三菱東京UFJ銀行	10
12	オリックス	10
12	国家公務員Ⅱ種	10
15	武田薬品工業	9
15	キーエンス	9
15	西日本電信電話	9
15	池田銀行	9
15	太陽生命保険	9
20	松下電器産業	8
20	みなと銀行	8
20	日興コーディアル証券	8
20	損害保険ジャパン	8
20	第一生命保険	8

女子

順位	就職先	人数
1	日本生命保険	67
2	東京海上日動火災保険	42
3	三井住友銀行	41
4	損害保険ジャパン	39
5	みずほフィナンシャルグループ	25
6	第一生命保険	23
7	三井住友海上火災保険	19
8	三菱東京UFJ銀行	17
9	関西アーバン銀行	15
9	野村證券	15
9	住友生命保険	15
12	オリックス	13
13	全日本空輸	12
14	大和証券	11
14	郵便局	11
16	池田銀行	10
16	住友信託銀行	10
16	泉州銀行	10
16	大同生命保険	10
20	みなと銀行	9
20	三井生命保険	9
20	オリックス自動車	9

学院の大学昇格運動に伴い、神戸原田の森から西宮上ヶ原へのキャンパス移転計画は進められた。1928年2月に起工、建築家W.M.ヴォーリスの指揮のもと、甲山山頂から時計台、中央芝生、正門、公道までを貫く軸線と赤瓦屋根、スタッコ壁で統一された建物が並ぶ開放的なキャンパスが、創立40周年の1929年に誕生した。

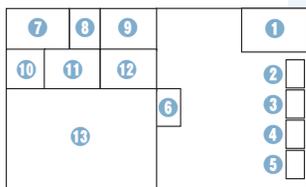


西宮 上ヶ原

"We have no fence."
-C.J.L.ベーツ第4代院長

(前編)

キャンパスいま昔②



- ① 中央芝生 ②③ ランバス記念礼拝堂 ④ 中学部 ⑤ 商学部 ⑥ 時計台
- ⑦ 創立40周年記念式典 ⑧⑨ 小林一三氏(阪急電鉄創業者)への感謝状(英文・和文) ⑩ 上ヶ原校地起工式 ⑪ ヴォーリスによるキャンパス基本配置設計図
- ⑫ 上ヶ原校地建設委員会メンバー ⑬ 移転当時の西宮上ヶ原キャンパス全景

勉強に、スポーツに、趣味に一。
さまざまな分野で一生懸命に頑張るKGビープルたち。
きらきらと輝く横顔を紹介する。

田村幸大さん
社会学部4年生

Cloverのホームページは<http://www.manabi-clover.org>



子どもと一緒に作るキャンプ 遊びながら学びを提供

今年2月、子どもたちに遊びながら学びを提供する学生団体「Clover(クローバー)」を結成した。昨年夏に小学校のキャンプの指導員補助をした時に、教師が実務に追われ、子どもたちとじっくり向き合えないという実態を知り、「学生の立場で子どもたちを支えたい」と団体結成を考えた。

「コンセプトは、楽しさからの学びを提供する『楽学(がくがく)』です」。メンバーは、関学生のほか関西の大学生10人。4月には大阪で漫画を使って算数を学ぶイベントを実施。好きな漫画を持ってきてもらい、ストーリーに隠れた算数の要素と一緒に探したり、漫画で図形を作ったりという斬新な企画が好評を得た。

8月末に京都で実施するキャンプでも、巨大な日本地図の製作など新たな企画を練っている。「子どもたちと学生みんなで作るキャンプが目標です」



ボウリングの国体強化選手に 将来はプロを目指す

今年の国体に向け、ボウリングの強化選手に選ばれた。ボウリングを始めたのは小学4年生の時。父親に誘われて家族でボウリング場にいったのがきっかけだ。「他のスポーツはすぐやめたのに、ボウリングだけはなぜか続けられた。とにかく楽しい」と目を輝かせる。中学に入ると、めきめきと頭角を現した。高校時代から全日本の強化選手として期待され、団体戦では全国4位の成績を持つ。国体出場を目指して挑戦中だが「日本のトップクラスのレベルで戦えるのは刺激になるし、全国に友達ができるのがうれしい」と気負いはない。

最高スコアは288。「レーンやボールのコンディションは毎日変わる。それを見極めながらボールが描く軌道を考えて投げ、ストライクを出すのが醍醐味」という。将来の夢はプロになつてボウリングの楽しさを広げることだ。



写真提供 / 神戸市

竹原三貴さん
総合政策学部1年生



5月に開催した素人相撲大会の様子



栗村文彦さん
経済学部4年生

入学当初はアメフト部に入部。秋に学内紙で相撲部が廃部の危機にあることを知り、「伝統ある相撲部がなくなるのは惜しい。自分がなんとかしたい」と入部を決意した。唯一の先輩が引退し1人になった後は、「新しい相撲のカタチを提案し、相撲部を復活させたい」と奮闘した。「相撲部再生計画ブログ」(<http://blog.hvedoor.jp/kwangakusumo/>)を開設し、須磨海岸で学生ビーチ相撲大会を実施。新入生歓迎計画としてレスリング部などを巻き込んだ「格闘技フェスタ」や「素人相撲大会」を開催するなど、企画力を発揮してきた。

その結果、部の認知度は上がり、現在部員は6人に増えた。6月の西日本学生相撲選手権大会では9年ぶりに2部優勝を果たした。「大学入学後に相撲を始めた部員が多い中での2部優勝は意義がある」と胸を張る。

廃部危機の相撲部を再生し 西日本学生選手権で2部優勝



尼崎のまちを描く自称「尼崎探訪家」。小学1年生まで尼崎市の阪神出屋敷駅付近で育った。そのころ、つまり昭和30年代の尼崎は、工場や商店街、映画館などが多数並び、にぎわっていた。「尼崎を離れても、あの入込みが好きでした」。阪神・淡路大震災の後、再び尼崎を訪れた。それ以降、昭和20年代から40年代の古いまちの様子を住人に聞いたり、写真や自分の記憶を頼りにしたりして描き続けてきた。

4年前イラストと文章をまとめた『わたしのノスタルジック尼崎』を自费出版。街頭テレビやガマの油売りなど、郷愁を誘うイラストが尼崎出身者以外にも評判を呼んだ。今春改訂版を発行し、原画展を開いた。「展覧会に来た人が、私のまちはこうだったと教えてくれるので、描きたいことがどんどん出てくる。尼崎探訪は私のライフワークです」

ライフワークは尼崎探訪 古き良きまちを描き続ける



井上眞理子さん
1975年文学部卒

著書は、TMO尼崎 (genki@bi.wakwak.com)
で取り扱っている。

私たちの先生

神学部
土井健司ゼミ

6人のゼミ生が毎回発表し意見交換

小さいころから教会に通っていたので、キリスト教が身近な存在でした。入学後にふと「神は本当にいるのか、神の存在はどうやって証明できるのか」と思ったことがあります。土井先生の歴史の授業で、十一世紀の



神学者が私と同じことを考えていたことを知りました。そこでキリスト教の歴史に興味を持ち、土井ゼミに入りました。

神学部のゼミは4年生から始まり、ゼミも卒論も必修ではありません。ゼミの初日に1年を通して研究するテーマを決めました。私は、複数分野専攻制度(MDS)を利用して、文学部総合心理科学科の授業も受ける中

で教育に興味を持ちました。中世のキリスト教が教育にどのような影響を与えたのかを調べたいと思い、テーマは「宗教改革者マルティン・ルターの教育観にしました。ゼミ生は6人なので、毎回全員が発表し、意見交換をします。ゼミ生のテーマは、生命倫理、古代キリスト教史、関学のキャンパスの設計者でもあるヴォーリスなど、時代もジャンルもさまざまです。

どいけんじ 京都市生まれ。関西学院大学神学部卒、同研究科博士前期課程修了、京都大学文学部研究科博士前期課程修了、同研究科博士後期課程中退。京都大学文学部助手、玉川大学文学部助教授を経て、現在は関西学院大学神学部教授。NCC宗教研究所研究員、京都大学博士(文学)。第七回中村元賞を受賞。著書に「神認識とエベクタシス」、「古代キリスト教探訪」、「キリスト教を問いなおす」、「司教と貧者」、「宗教と生命倫理」(共編著)など多数。

のテーマは、生命倫理、古代キリスト教史、関学のキャンパスの設計者でもあるヴォーリスなど、時代もジャンルもさまざまです。土井先生は、発表の合間に一人ずつ細かい質問をしてくれます。質問にうまく答えることができないと「ど

こが調べ足りなかったのか」がすぐに分かります。レポートを仕上げることが目標ではなく、「自分の研究テーマをどうまとめたいか」「丁寧な教えをもらっています。この経験は、将来必ず役に立つと実感しています。

土井先生はおしゃれでかっこいいので人気があります。私にとっても研究の面などで「あんなふうになりたい」というあこがれの存在です。



貴田直樹さん

神学部4年生

先生からひと言

—私の研究課題

現在の研究課題は、4世紀に至るキリスト教における救貧の実践と思想、ならびに現代の生命倫理の問題をキリスト教の視点から考えることです。今日の病院の起源は4世紀のローマ帝国東方地域のキリスト教に求められますが、キリスト教における病者・貧者・ハンセン氏病と推定される貧者を含むへの救護、救貧について、フィリッポ・ピア(人間愛)概念の展開を手掛かりに研究しています。生命倫理については、脳死・臓器移植、ヒト胚の研究利用、生命の尊厳などについて研究してきましたが、特に今はアメリカの生命倫理成立史におけるキリスト教神学者・関係者(リチャード・マコーミック、ポール・ラムジー、ダニエル・キゴハン)の役割を歴史的に研究することも行っています。

—学生へのメッセージ

昨年、企業懇談会に出席した折、お隣の方が「最近の関学生は、関学生らしくない。もっと個性を発揮して、リーダーシップを取ってほしい」とおっしゃっていました。そこで自分は何かを知り、自分を形成することが肝要だと思いましたが、同時に自分を「自分」の枠におさえ込まないことも大事です。あなたの考える「あなた」が、あなた自身かどうかが分かりません。いろいろな可能性に挑戦してください。自分の興味のあることだけでなく、初めは興味のないうちでも後に面白くなるかもしれません。賢く、上手に、適切にかかわるうとするのではなく、後ろ向きになることなく、学業にも自分の将来にも真正面から取り組んでほしいと思います。

喫茶店 モーニング文化

社会学部教授
島村恭則



しまむら・たかのり 1967年東京都生まれ。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得退学。国立歴史民俗博物館助手、秋田大学准教授を経て、現在、関西学院大学社会学部教授。専門は、民俗学。特に、日本社会の文化的多様性や都市の民俗についてフィールドワークをもとに研究。著書、論文に、『日本より怖い韓国の怪談』河出書房新社、『モーニングの都市民俗学』、『国立歴史民俗博物館研究報告第103集』など。

民俗学というと田舎の風習や言い伝えの研究というのが従来のイメージだった。しかし、最近の民俗学は、都市の民俗(日常生活文化)も積極的に扱うようになってきている。筆者のフィールドノートから都市民俗の一例をとりあげてみよう。

中京圏から京阪神、中・四国を

経て北部九州あたりまでの都市部を中心に、朝食を自宅ではなく近所の喫茶店のモーニングセットでとるという習慣(「モーニング」)が存在する。サラリーマンが出勤途中に朝食をモーニングでとるとするのは、全国的に広く見られることだが、ここでの「モーニング」は、妻や、場合によっては子どもまでもが朝食を喫茶店でとることをいう。また自営業者なら、夫も近所の常連とモーニングをとるという習慣だ。こうしたモーニングは、単なる食事の場ではなく、近隣の人びと同士の井戸端会議の場ともなっている。

モーニングの起こりは、高度経済成長期に各地の喫茶店がコーヒーにトーストを付けるサービスを開始したことに求められるが、興味深いのは、サラリーマン層への浸透とは別に、家族、近隣の生活習慣としてこれを受容する地域があったという点だ。

モーニングがさかんなのは、どちらかといえば、町工場や長屋、銭湯がひしめきあい、昔ながらの商店街がまだ活気を失っていないような下町のエリアである。なぜ、モーニングをするのか。当事者た

ちは、「忙しくて朝食をつくっている暇がない」「近所とのコミュニケーション」などと説明をすることが多いが、近隣同士の敷居が低く、また、「専業主婦が家の中で毎朝家族のために朝食をつくる」といった「近代家族」の「常識」には必ずしもおさまらない生活の論理が存在する地域でモーニングが展開されてきたということもできるだろう。

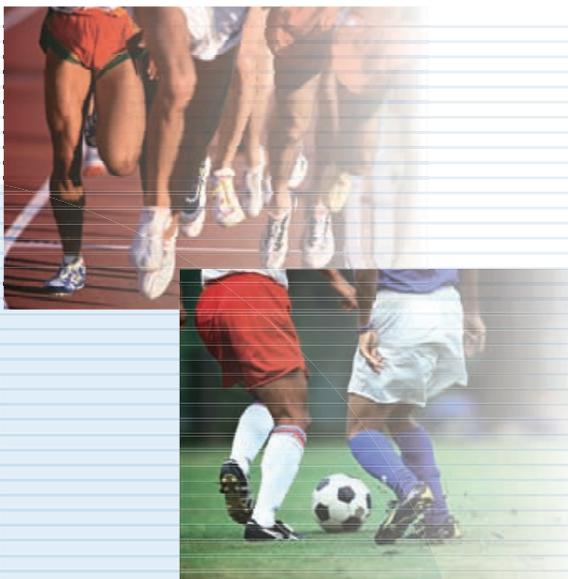
ところで、大阪のある町では、モーニングの常連たちの何気ない会話の中から、町づくりのアイデアが生まれ、地域の活性化につながったという事例がある。モーニングには、近隣コミュニティ形成の場、「下町的な公共空間」としての意義もあるといえよう。

さて、このモーニング文化、当事者にとっては当たり前の習慣だが、まったくの初耳という方も多だろう。現代の日本では文化的な均質化が進行している。しかし一方で、こうした生活文化の多様性もまた根強く存在する。「内なる異文化」の発見とその意味の考察(そして、できれば将来の暮らしのヒントをそこに探る)も民俗学の重要な仕事の一つである。

関西学院関係者のオリンピック出場歴

No.	開催年	場所	名前	クラブ名
夏8	1924	パリ	石田恒信(29卒)	水上競技部
夏9	1928	アムステルダム	木村一夫(注1)	陸上競技
			中沢米太郎(注2)	陸上競技
夏10	1932	ロサンゼルス	木村一夫(注1)	陸上競技
冬4	1936	ガルミッシュ・パルテンキルヘン	片山敏一(38卒)	スケート部
夏11	1936	ベルリン	西邑昌一(34卒)	サッカー部
夏15	1952	ヘルシンキ	山崎次男(53卒)	レスリング部
			海徳敬次郎(52卒)	ヨット部
夏16	1956	メルボルン	鶴田正憲(50卒)	サッカー部
			長沼健(53卒)	サッカー部
			佐藤弘明(55卒)	サッカー部
			平木隆三(57卒)	サッカー部
			北口晃(57卒)	サッカー部
冬8	1960	スコーパレー	上野(平松)純子(65卒)	スケート部
夏17	1960	ローマ	津谷(馬淵)鹿乃子(60卒)	水上競技部
			蝦名純(61卒)	陸上競技部
冬9	1964	インスブルック	上野(平松)純子(65卒)	スケート部
夏18	1964	東京	佐々信三(58卒)	馬術部
			勝本正則(57卒)	馬術部
			浅井浄(65卒)	陸上競技部
			田中(島崎)章(64卒)	陸上競技部
			津谷(馬淵)鹿乃子(60卒)	水上競技部
			平木隆三(57卒)	サッカー部
			継谷昌三(63卒)	サッカー部
			小山勉(59卒)	バレーボール部
冬10	1968	グルノーブル	山下(大西)一美(71卒)	スケート部
冬11	1972	札幌	山下(大西)一美(71卒)	スケート部
夏27	2000	シドニー	田口壮(92卒)	硬式野球部

※在学中もしくは卒業後に出場した選手のみ掲載、()内は卒業年度と現姓(注1)中学部卒(注2)一時在籍



関西学院とオリンピック 数字でみる関学

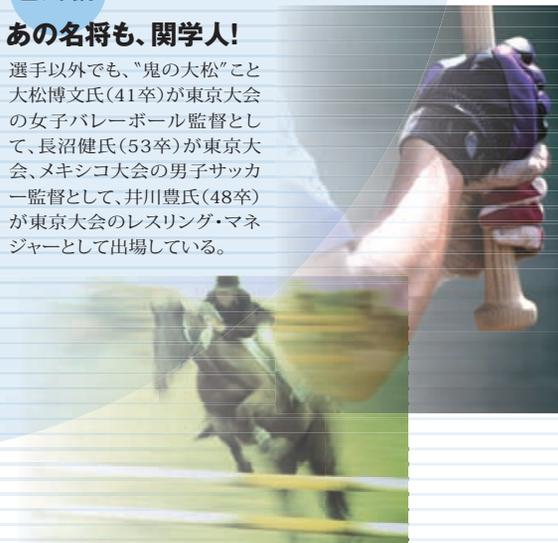
北京オリンピックがまもなく開幕する。
関西学院関係者の出場は近年、果たされていないが、
かつては多数の五輪選手を送り出してきた。
往年の“オリンピック”を振り返る(表中敬称略)。

※広報室調べ、日本代表選手として出場した関西学院の学生・卒業生を掲載。極東オリンピック出場者は含まない。

番外編

あの名将も、関学人!

選手以外でも、“鬼の大松”こと大松博文氏(41卒)が東京大会の女子バレーボール監督として、長沼健氏(53卒)が東京大会、メキシコ大会の男子サッカー監督として、井川豊氏(48卒)が東京大会のレスリング・マネージャーとして出場している。



学院では引き続き、関学関係者のオリンピック出場歴を調べています。
本コーナーも記載漏れの可能性がありますので、情報をお持ちの方は
ボプラ編集部(kg-poplar@kwansei.ac.jp)までお寄せください。

関西学院教育振興会 募金協力のお願ひ

関 西学院は創立者W・R・ランバスが神戸市郊外の

原田村(現神戸市灘区・王子公園の一角)に校地を購入し、校舎、学生寮などを建設し、兵庫

県知事の許可を受けた日(1889年9月28日)を創立記念日と定めています。授業

開始の10月11日、小さな学灯を囲んだのはW・R・ランバスと5人の教授、19人の学生・生徒

でした。神戸・原田の森に蒔かれたたつた一粒の小さな種「関西学院」

は現在、西宮上ヶ原、神戸三田、大阪梅田、東京丸の内、宝塚

の五つのキャンパスに初等部、

中学部、高等部、大学(9学部)、大学院(12研究科)を擁し、学

生・生徒数が2万人を超える大きな樹木に成長しました。少子化に伴う「大学全入時

代」を迎えた今、関西学院も厳しい競争にさらされながら歩み続けております。社会に有用

な人材を送り出すために、またグローバル・スタンダードの研究拠点となるために、学院

を取り巻く社会状況とニーズの変化に即応して、近年はロースクール、ビジネススクール、アカウンティングスクールとい

った専門職大学院の拡充、大

阪梅田キャンパス、東京丸の内キャンパスと都市中心部での拠点設置を進めてまいりました。

来年には教育学部の新設や総合政策学部・理工学部の学科増設・拡充、社会学部の拡充な

ど今後、「総合学園の再創造」に向けて、大規模な新規事業

を予定しております。

これら関西学院の長期計画を進めるため、大きな力となるのは教育振興会からの寄付

金です。これまでの皆様の温かいお力添えに心から感謝いたしますとともに、本年度も一

層のご協力を賜りますようお願いいたします。



2007年度 募金状況 報告

2007年度も関西学院教育研究等振興資金募金事業へのご支援をお願いいたしましたところ、下表のように多くの皆様からご寄付を頂戴いたしました。ここに深く感謝の意を表します。

関西学院教育振興会会長
学校法人関西学院理事長
森下 洋一

(2007年4月1日～2008年3月31日)

	入金状況	
	件数	金額(円)
個人	5,100	230,409,732
法人	87	35,965,315
団体	74	92,119,344
合計	5,261	358,494,391



◎お問い合わせ
関西学院法人部校友課
TEL 0798-54-6010
FAX 0798-51-0929
〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院教育振興会会長
関西学院 理事長

森下 洋一

関西学院 院長
ルース・M・グルーベル

関西学院大学 学長

杉原 左右一

関西学院 高中部長
関西学院 高等部長

澄田 新

関西学院 中学部長

安田 栄三

関西学院 初等部長

磯貝 暁成

キャンパスニュース

教育学部設置に向け、認可申請

関西学院大学は5月28日、教育学部の2009年4月設置を文部科学省に申請した。認可は今秋の見込みで、問題がなければ10番目の学部が来春誕生する。

教育学部は、文学部の教育学研究の伝統と聖和大学の幼児教育の伝統を受け継ぎ、そこに小学校教員養成課程を加える。「子ども理解」を基本理念とし、「幼児・初等教育学科」（入学定員280人）と「臨床教育学科」（同70人）の2学科で構成する。

幼児・初等教育学科は主に幼稚園教員と保育士を目指す「幼児教育コース」と主に小学校教員を目指す「初等教育コース」の2コースに分かれる。臨床教育学科は、学習

上や生活上で困難を抱える子どもや保護者、教師を支援する人材の養成を目指す。教育学部の誕生により、関西学院大学で初めて小学校教諭と幼稚園教諭の免許状、保育士資格の取得が可能となる。

教育学部は、現在聖和大学のある西宮聖和キャンパスに開設する。西宮上ヶ原キャンパスとは徒歩約10分の距離にあり、両キャンパスの図書館、食堂などの施設を利用できる。同じ敷地内には聖和幼稚園と聖和乳幼児保育センターがあり、日ごろから子どもと接する機会に恵まれる。今年4月に開校した関西学院初等部や近隣の教育委員会とも連携を深め、学生の実習等に力を入れる。

財団法人近江兄弟社と学術協定

関西学院大学は7月1日、財団法人近江兄弟社（滋賀県近江八幡市）と「学術連携協力に関する協定書」を締結した。

本協定に基づき、関学でこれまで進めていたヴォーリズに関する研究を同社との共同作業として推進し、同社創設者ヴォーリズの伝道者、教育者、建築家、事業家としての足跡や思想などの研究をさらに深め、ヴォーリズを通じて果たされた教育・社会事業などによる社会貢献の在り方や可能性を探る。ヴォーリズ記念館所蔵の資料の整理、保存などの作業を推進し、一連の成果は研究成果としてまとめる。

2009年度総合政策学部・理工学部へ新学科設立へ 社会学部・文学部も再編

2009年、総合政策学部と理工学部へ新学科を設立する。総合政策学部は「都市政策学科」と「国際政策学科」を新設。都市政策学科は建築、都市デザイン、行政、社会福祉などを学び、一級建築士の受験資格も取得できる。国際政策学科では、国連が掲げる課題や外交政策などの政策を研究する。

理工学部は「数理科学科」「人間システム工学科」を開設。数理科学科では、数学を理論と応用から学ぶ。人間システム工学科では、映像や音楽などのメディア、ロボティクス技術などを研究する。生命科

学科には、新たに「生命科学専攻」と「生命医化学専攻」を設置する。

また、社会学部は従来の5コースから3系（メディア・表象系、社会・共生系、人間・心理系）7領域（メディア、社会表象、グローバル社会、現代社会学、ソーシャル・ネットワーク、臨床社会、社会心理）へと拡充し、社会学を核としつつ新しい研究分野へと学びの幅を広げる。

文学部総合心理科学科は従来の3専修から、心理学の基礎と応用を専門的に学ぶ心理科学1専修に再編する。

Newton賞作品募集

大学図書館は「J.C.C.Newton賞」(第9回)の作品を9月24日から11月5日まで募集する。

今年のテーマは「食」。「食品」「飽食」など「食」から連想されるものであれば題材は自由。本格的な学術論文やエッセー、ノンジャンル作品など形式は問わない。対象は本学図書館カード保有者および同窓会発行の「関学カード」会員。提出先は大学図書館運営課(西宮上ヶ原)もしくは図書メディア館事務室(神戸三田)。副賞として最優秀賞1名に20万円、優秀賞2名に5万円が贈られる。詳細は大学図書館ホームページもしくは同運営課(☎0798-54-6121)まで。

国内外の被災者へ募金活動

中国・四川省の大地震とミャンマーのサイクロン被害に対し、関西学院宗教活動委員会は5月20日から6月末まで「被災救援募金」を実施した。初・中・高・大の児童・生徒・学生、教職員、卒業生、一般から約213万円が集まった。募金はNCC(日本キリスト教協議会)、日本赤十字社を通じて被災各地に届けられる。

募金期間の最終日には、混声合唱団エゴラドや聖歌隊など学内の団体がチャリティーコンサートを開催し、中国とミャンマーの留学生も参加した。募金は、岩手・宮城内陸地震の被災者にも贈られた。

環境シンポジウムを開催

関西学院大学は5月18日、神戸市でサミット前に開かれたG8環境大臣会合を記念して、神戸市内でシンポジウム「ポスト持続可能性社会を見据えて」を開いた。

井戸敏三・兵庫県知事と嘉田由紀子・滋賀県知事が「自然との共生を考えた行政のあり方」をテーマに対談。さらに、阪智香・商学部教授(環境会計)、久野武・総合政策学部教授(環境政策)、古川彰・社会学研究科教授(環境社会学)、京都大学の諸富徹・経済学研究科准教授(環境経済学)がパネリストになり、それぞれの視点から討論した。

野田正彰教授からのメッセージ …… ⑭

会話のルール



「子どものコミュニケーション能力が不足しているようです」

野田教授

大人とともに会話できない若者が増えていると言いますが、若者同士でもできていないのでは。以前は赤面恐怖症という人前でうまく話せない人がかなりいましたが、最近は減っています。しかし、それは若者の交流が豊かになったからではなく、表面的に自分を装うことがうまくなったからです。

今は何かを本気になつて考え、自分の意見を友だちにぶついたりすることがほとんどありません。ネット上でのいじめが問題になつていますが、議論ができないから陰口を言っているわけです。しかもネットや携帯電話は、都合が悪くなればオフにできます。

若者はスイッチ・オフされることに強い不安を持っています。携帯に着信がないと不安になります。摩擦をおそれて人と深くかわりたくない反面、孤立をおそれてメールのようなつながりは維持したいのです。

会話には情報の伝達と、考え方や判断の伝達、そして感情の伝達の三つが含まれます。しかし、今は情報ですら伝達しているかどうかあまいです。共通情報の確認をしているだけで、だから顔を合わせる必要がないわけです。

子どもは個々の家庭で努力すれば変わります。「子どもの話を聞きましょう」とよく言いますが、まず夫婦でちゃんと議論して、それから子どもに親の意見を伝えることが大切です。自分の意見も言わずに、子どもが何を思っているのか、知るために話を聞くと構えるのではなく、誰も楽しく話ができないでしょう。

また、同じ話を一方的に繰り返さないことが大切です。「こんな友だちとは付き合えない」「○○さんのようになりなさい」と何度も言われると、子どもは聞きたくなくなります。子どもの話を途中でさえぎる親も少なくありません。相手が言い終わるまで聞く、これらは会話のルールです。

会話がうまくいかないようであれば、録音して文字におこして読み返してみてもいいかがでしょうか。普段の会話がいかに誤解で成り立っているか分かることでしょ。

お知らせ

大学図書館秋の一般公開

地域社会の多様な教育的・文化的要請に応えるため、大学図書館の持つ学術情報や資料を地域住民の方に提供。今年度下半期の利用申し込みを9月1日㊦から13日㊧まで受け付けます。定員200人。
 ▷利用資格=20歳以上。西宮市、三田市近隣の地域に在住し、本学図書館の図書・資料を用いた調査・研究の目的が明確な人。他大学学生、大学受験生を除く。
 ▷利用期間=2008年10月～2009年3月(1月を除く)
 ▷利用登録料=3,000円
 ㊨大学図書館利用サービス課一般公開係(☎0798-54-6123)

ロースクール生による無料法律相談を実施

関西学院大学法科大学院(ロースクール)では、授業の一環として、リーガルクリニック(法律相談)を実施しています。将来、弁護士や検察官、裁判官などの法律専門家を目指す学生が、ベテラン弁護士教員指導のもと無料で法律相談に乗ります。

相続などの財産管理でもめごとが起こらないように今から対策をとっておきたい、マンションの修繕に家主が応じてくれないなど多様な法律相談に応じます。

予約および詳細は下記までお問い合わせください。教育目的に合わない相談はお断りする場合がありますので、ご了承ください。

▷期間等=授業期間中(10月6日㊦～1

月10日㊦)の月曜15時20分～17時
 ▷場所=西宮上ヶ原キャンパス法科大学院棟内
 予約・問い合わせは☎0798-54-1927

関学ラジオ番組「アイデアカプセル」

ラジオNIKKEI、インターネットで放送中の教養番組「アイデアカプセル」の8月以降の講師、テーマが決まりました。放送は毎週金曜夜10時半～10時45分、同社ホームページ(<http://blog.radionikkei.jp/kwangaku/>)からは、NHKで先日放送された藤井美和准教授の「死生学」(07年12月放送)、今号環境特集(3～7頁参照)にも登場する阪智香教授の「環境会計」(08年6月放送)などの過去収録分をすべてお聴きいただけます。

▷8月=山泰幸・人間福祉学部准教授「神話の知に学ぶ」▷9月=林隆敏・商学部教授「監査の今を考える」▷10月=角野幸博・総合政策学部教授(都市デザイン、テーマ未定)▷11月=西村智・経済学部准教授(労働経済学、テーマ未定)

わが子の就職を考えるセミナー

3年生の保証人対象。
 ▷開催日=10月4日㊦
 ▷場所=西宮上ヶ原キャンパス
 ㊨校友課(☎0798-54-6010)

催し

新月祭2008

大学祭「新月祭2008」を西宮上ヶ原・

神戸三田両キャンパスで開催。今年のスローガンは「絆」。

■西宮上ヶ原キャンパス=10月31日㊦～11月3日㊦・㊧
 ■神戸三田キャンパス=10月25日㊦、26日㊦
 ㊨大学祭実行委員会(☎0798-54-6455)

秋のオープンセミナー

以下すべて無料。事前申し込み要。
 ㊨生涯学習課オープンセミナー係(☎0798-54-6892)
 ■西宮上ヶ原キャンパス講座
 「経済発展と豊かさ・幸福について考える」
 ▷10月18日㊦「芸術と人間—江戸絵画の楽しみ—」(冷泉為人・冷泉家時雨亭文庫理事長)
 ▷11月8日㊦「国際的にみた我が国の医療と福祉」(松田暉・兵庫医療大学学長)
 ▷11月29日㊦「豊かさ・幸福からみた近代日本」(寺本益英・経済学部教授)
 ※いずれも10時～12時、B号館101号教室

■神戸三田キャンパス講座
 「オリンピックイヤーに再びスポーツ・健康を考える」
 ▷10月25日㊦「オリンピックをマネージメントの視点から考える」(林直也・人間福祉学部専任講師)
 ▷11月15日㊦「スポーツが健康と肥満に及ぼす影響」(中塘二三生・人間福祉学部教授)
 ▷11月22日㊦「伝統文化としてのスポーツ—柔道を題材として—」(佐藤博信・人間福祉学部准教授)
 ※いずれも10時30分～12時30分、キッピーモール6階協働センター多目的ホール(JR・神戸電鉄三田駅前)

)))) 初・中・高通信

中学部

地域への奉仕活動として
登校しながら通学路を清掃



中学部は朝の登校時間を利用して、生徒らが通学路を清掃する地域奉仕活動をしている。10年以上続く取り組みで、当時の生徒会の生徒らが「自分たちができる奉仕活動をしたい」と提案した。現在は月に1回程度実施し、有志ら約50人が参加している。生徒の一人は「ほぼ毎回参加しやすい」と話す。

6月は、梅雨の合間の晴天の日に実施。生徒と教諭らが阪急甲東園駅前に朝7時30分に集合し、手にごみ袋やごみばさみを持って「ごみ発見!」「溝の方も見て」など声を掛け合いながら元気に取り組んだ。8時ごろになると登校中の生徒も加わり始めた。ポイ捨てされたタバコやガム、ビールの缶でごみ袋3~5袋がいっぱいになった。近くに住む住民は「街を美しくしてくれてありがたい。事故などには気をつけて取り組んでほしい」とエールを送る。

美化活動担当の文堂裕治教諭は「できるだけ生徒の自主性に任せている。このような活動に取り組むことで、自然に“ごみを減らす・出さない”という精神も身に付くと思う。今後も継続していきようサポートしていきたい」と語る。



関学生協ホームページから
家族の書籍も注文可能に

関西学院大学生協は5月から、ホームページから書籍の注文ができるシステムを開始した。家のパソコンから関学生協(<http://www.kgcoop.jp>)の「店舗在庫検索発注システム」へアクセスし、書名、出版社などを入れて検索すると在庫の有無が分かる。直接店舗で購入するかインターネットでも注文することができる。

価格は定価の1割引き。学生はもちろん、家族の方も購入可能。生協の担当者は「発送はしていないので、子どもさんに取りに来てもらうことになるが、書籍の注文で親子の会話が増え、家族みんなで読書をしてもらえれば」と話す。

関関戦の写真を販売中



6月19日から21日に開催された「第31回総合関関戦」は、総合成績が12勝20敗4分で関学が敗戦した。通算成績は14勝16敗。各試合を関学専属カメラマンが撮影し、熱戦の模様をネット上に公開、写っている本人に有料で販売している。詳しくはP-TALKホームページ(<http://p-talk.jp/kk>)にアクセスの上、アクセスキーに「kwansei」と入力。

ご意見、ご感想をお寄せください

広報室では、本誌に対する読者の皆様のご意見、ご感想などをお待ちしています。「こんな特集をしてほしい」などのご希望があればお寄せください。

今回は、特集で紹介した関西学院オリジナルのエコバッグと箸箱をセットにして10名様にプレゼントします。エコバッグの色の指定はできませんのでご了承ください。

標題に「ポプラ夏号プレゼント応募」と明記の上、①〒・住所②氏名③電話番号④本誌へのご意見・ご感想を記入して、関西学院広報室「ポプラ」編集係(下記参照)まで、はがき、FAX、電子メールでお寄せください。締め切りは8月22日㊟。当選は発送をもってかえさせていただきます。

〒662-8501
西宮市上ケ原一番町1-155
関西学院広報室
「ポプラ」編集係
▶ FAX 0798-51-0912
▶ メールアドレス
kg-poplar@kwansei.ac.jp



※お寄せいただいた個人情報
は、企画の参考およびプレ
ゼントの発送に利用し、それ
以外では利用いたしません。

BOOK SELECT

ブック・セレクト

教員の新聞

男読み 源氏物語

高木和子文学部教授
朝日新書

キーコンセプト ソーシャルリサーチ

高坂健次社会学部教授訳者代表、
三浦耕吉郎社会学部教授、
中野康人社会学部准教授分担訳
新曜社

資金管理

一政策・理論・制度
居樹伸雄社会学部教授共著
中央経済社

日本の民俗3

一物と人の交流
島村恭則社会学部教授共著
吉川弘文館

原子爆弾とキリスト教

一広島・長崎は「しょうがない」か？
栗林輝夫法学部教授著
日本キリスト教団出版局

多文化主義社会の福祉国家

一カナダの実験一
櫻田大造法学部教授共著
ミネルヴァ書房

関数とはなんだろう

山根英司理工学部教授著
講談社

K.G.りぶれっと No.22

学生たちは国境を越える
一国連学生ボランティアプログラム/
国連情報技術サービス(UNITeS)の挑戦

高畑由起夫総合政策学部教授、
大江瑞絵総合政策学部准教授共編
関西学院大学出版会

ダイヤモンド・ドッグ

一(多文化を映す)現代オーストラリア短編小説集
渡邊大太高等部教諭共訳
現代企画室

関西学院大学論文叢書 第16編 スピリチュアルケア学概説

窪寺俊之元神学部教授著
三輪書店

5年半続いた小泉劇場が閉幕し、その後継作「美しい国」は主役が体調を崩し降板、1年で打ち切りとなった。新作「背水の陣」の客足が遠のくなか、宮崎や大阪など一部の地方劇場では、個性派俳優の登場で賑わいを見せている。

本書は、信濃毎日新聞夕刊に毎週金曜日連載中のコラム「今日の視角」、05年9月から08年3月までの2年半、計126回をまとめたもの。「靖国参拝の波紋」「教育行政の犯罪」「イルミネーション家族」など、政治から教育、司法、犯罪・事件、国際関係、家庭までの問題点を論じ、何が大切であるかを問いつけていく。「批判力が育たないよう、目隠しして走らされてきた国民は、政治をテレビが作る祭り、パフォーマンス」としか思わなくなった(本書206頁)。他者の境遇や痛みに共感する力と本質を見抜く力、迎合しない意思の大切さを訴えている。

「源氏物語」には、795首の和歌が出てくる。藤壺、紫の上、浮舟など主要な登場人物のそれぞれの和歌に注目することで、その人物像に迫ることが多いが、本書では、光源氏と女君たちの間で交わされる和歌贈答の方法に焦点を当てるといって一味違った手法で、女君たちの物語の中での位置づけを考える。

当時の貴族社会では、男性からの贈答歌には周囲の者が代作で返すのが通例だった。なぜ代わりか歌を詠むのか、女から歌を詠むのはどんな時なのか……。

今年「源氏物語」が書かれてから1000年に当たる「源氏物語千年紀」の携帯のメールで気軽に連絡を取り合う今だからこそ、和歌のやり取りに隠された古人(いにしえびと)の想いを知ることが面白いだろう。

「名探偵ポアロ」は、アガサ・クリステイの推理小説の中でも人気のシリーズ。読者はミステリーに、犯人像の推理とトリックの意外性を求める。しかし、著者は「ポアロは犯人が分かった後で読み返しても、多くの新しい発見がある」と記し、逆読みしてあらためて浮かび上がったポアロの魅力をまとめた。

第一部は「名探偵ポアロを推理する」と題して、さまざまな角度からポアロ像を探っている。アガサ・クリステイはイギリス出身、ポアロシリーズの舞台の多くもイギリス。なのに「なぜポアロをベルギー人の設定にしたのか」という問いから始まり、他人のネタの曲がりも許さないこだわり、人間関係などから、ポアロの本質に迫る。テレビで放送されていたDVD作品と原作との違いについても言及。ポアロの大ファンという人はもちろん、ポアロを読んだことがないという人も楽しめる一冊だ。

見得切り政治のあとに



見得切り政治のあとに

野田正彰教授著
みすず書房
209頁 2,600円+税
2008年5月19日



女から詠む歌
源氏物語の贈答歌
高木和子(文学部教授)著
青簡舎
212頁 1,800円+税
2008年5月10日



名探偵を推理する1
ポアロ
小さな灰色の脳細胞
後藤稔(高等部教諭)著
書肆侃侃房
159頁 1,500円+税
2008年6月24日

ようやく土地が買えました

の実現となるでしょうし、妻サラこそ、神様の約束のなかでいきぬいたひとりとして記念したかったのでしょう。やがてアブラハムもこの墓に葬られることとなります(25章10節)。また時代を経てその墓のある土地へブロンは、ダビデ王の最初の首都となるのです(サムエル記下2章)。

アブラハムが土地を買うことにこだわったのは、神様の約束の確かさを自分で確かめたかったということですし、創世記が「わたしは…あなたを祝福し」(12章2節)というその神様の約束が、アブラハムとサラの生涯のなかで実現したことを物語るからでしょう。

ところで昔ある偉い先生が、若い研究者に「君、早く本を出したまえ」と激励しました。若手研究者は「わたしなんかまだまだ…」と遠慮すると先生は、「何を言っているんだ、迷惑するのは読者だけだ」と言ったとか言わないとか。季刊ということで年4回のこのコラムをお引き受けして、もうすでに4年目になります。キリスト教全体についてのお話からスタート(『また今度の日曜日』というコラム全体の名前もキリスト教としての意味があるのです)し、次に聖書のお話を順々に、と創世記から始めたのですが、なかなか先に進まない。なんとかイスラエル民族の祖アブラハムの生涯の終わりまでやってきました。この調子で続けると、一体いつまで?

読者の皆さまにご迷惑をおかけし続けているのですが…。

アブラハムの永年つれそった妻サラが亡くなりました。この記事はどこにサラを葬るということをめぐるのエピソードですが、当時のイスラエル人たちは、羊を追いながら生活をする移住生活者として描かれています。ですから彼らには土地がありませんでした。たまたま寄留していた地へブロンへの人から、墓地の提供の申し出を受けるのです。ところがアブラハムはそれに感謝しながらも、土地を買い取って自分の所有地にサラを埋葬したいと願ったのです。

なぜアブラハムは墓地の「所有」にこだわったのでしょうか。アブラハムの生涯の最初、親のもとから独立してその家を離れて独り立ちしたときにサラも一緒にした(12章5節)。それから移住生活をしながら、二人が夫婦であることを知らないエジプト王からサラを妻に求められたり(12章10節～)、なかなか子どもができず、悩みそしてあきらめてしまったり(15～21章)、せっかく与えられたその息子イサクを犠牲とせよと命じられたり、波乱に満ちた生涯でした(ちなみにアブラハムの出身地はハランでしたが?)。その長い歩みをもとにしてきた妻の埋葬地だけは自分で用意したかったのでしょうか。実はもうひとつ、アブラハムの思いの中にアブラハムの子孫に「やがて土地を与えよう」という、最初の神様の約束の言葉があったようです(12章7節)。サラの墓地としてでも、アブラハムが土地を買うことは、神様のこの約束の最初

編集後記

●07年度の就職も好調のようだが、活動の早期化は進む一方だ。それに對し、大学3団体が早期是正の声を上げた。守られた教育環境の中で、より満足度の高い就職ができることを願うばかりだ。(久)

●団塊世代の学習意欲が高いと聞く。昨年10月に始めたラジオ番組「アイデアアカペラ」(20頁参照)もたしかに広い世代にわたって聞いてもらっている。一度ダウンロードしてみてください。関学の先生たちが月代わりで登場します。(川)

●今回の環境特集をきっかけに、私もマイボトルを持ち歩くようになりました。女子学生いわく「マイボトルを持った男性はカッコいい」そうであるが、男は、男子学生！(信)

●スポーツ人にとって憧れの舞台、オリンピック。人生のすべてをかけても切符を手に行ける人は一握り。困難は重々承知だが、「モード・イン・K.G」の勇姿をそろそろ見たい。(い)

POPLAR No.61

発行日/2008年8月1日
発行/関西学院大学
編集/広報室
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155
☎0798-54-6017
http://www.kwansei.ac.jp/
写真/清水茂・吉田孝充
制作/㈱神戸新聞総合印刷

※この冊子は関西学院に在籍する
学生・生徒の保証人のご住所に春・夏・秋・
冬、年に4回お届けいたします。

また今度の
日曜日

文学部教授・宗教総主事
田淵 結

コドモとオトナを
行ったり来たり。



Inter-Art Museum
小学生の美術展より
「なわとび」

「？」や「！」を大切にしている会社です。

コドモのイマジネーションには、羽根が生えています。

オトナには、状況を判断し、的確な答を出す力があります。

プランを練るとき、図面に向かうとき、

私たちは、コドモとオトナを行ったり来たりしているのです。

www.takenaka.co.jp

想いをかたちに

 **竹中工務店**

お問い合わせは ————— 広報部へ
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605